

編集 後記

毎年この号の到着を発見すると、他の号のときに比べてなり高い確率で、即座にビニル袋を破る。なんとなれば、今年で言えば、秋田の総会のプログラムが付いているからである。すでに事務局からのメールで演題採択という安堵の通知は来ているが、不確かだった自分の発表日時と場所を活字で確認し、今度は電子手帳に書き込み、周囲を誘って切符の手配やホテルの予約に走る。

つまり、この号は価値あるインフォメーションを多くの会員にもたらず特別な号である。普段は雑誌が着いたら編集後記から読むことにしているような一部の会員も、この号だけは、先に総会演題集を開いたに違いない。

こんな、ひと騒動のあと、ようやく通常の号と同じく、目次を一瞥され、いったん机に置かれ、書棚におかれて、今号も静かなときを迎える。

静かに置かれた専門誌に掲載された論文には、著者のプライオリティの確認と記録の意味もある。

私たちの学会は、ほとんどの会員が日常の現場を持っているところに特徴がある。現場というところは、問題の宝庫でもある。会員が問題解決の過程で経験したことの中に、初めてらしさや他にはなさそうな「オンリーワン」を感じたとき、そのプライオリティを過不足なく記述し活字にして残しておく。

未曾有かと思われたこの3月のできごと、歴史がひも解かれるにつれ、数百年の単位で過去にいくつもの古文書が残されているようである。

なにやら難しい統計検定をしないと論文にならない感も否めない昨今であるが、個人的には、記録として大切なのは、むしろ専門家としての着眼点に基づく確かな観察と記述、手抜きのない集計、独自の分析による仮説の発想ではないかと思っている。

問題に取り囲まれた私たちは、幸運である。

(那須郁夫)

次号予告 (第58巻・第9号)

原著

特定高齢者の候補者の健診受診に対する社会的ネットワークの直接および間接効果
一般高齢者との対比……………杉澤秀博, 他
中学生における近隣の地域環境の質, 個人レベルの social capital と抑うつ症状との関連
……………朝倉隆司

公衆衛生活動報告

地域医療連携推進における宇和島保健所の働きかけの有用性の評価……………富田直明
保健師等のコンピテンシーを高める学習成果創出型プログラムの開発
大学院の地域貢献を目指すアクションリサーチの一貫として……………岡本玲子, 他

研究ノート

青年女子の疲労自覚症状に関与する要因
……………池田順子, 他

連載

ヘルスサービスリサーチ(14)……………松澤明美, 他
社会と健康を科学するパブリックヘルス(10)
……………早乙女周子

第58巻第6号につきまして下記のとおり訂正願います

誤

- P.472右段15行目
することが可能となる (図3)
- P.472右段最終行~P.473左段1行目~
公表を開始した (図4)

正

- することが可能となる
- 公表を開始した (図3)